



“地域のことは地域で考えよう”

2016年6月28日

おきぎん県内景況・速報 2016年5月

一県内景況は、拡大している一

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高は前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテルが前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2016年5月分)

◎2016年5月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

5月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は雑貨などが堅調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、エアコンや洗濯機の売上増加などにより前年同月を上回りました。新車販売台数はレンタカー需要や買い替え需要の増加などから前年同月を上回りました。

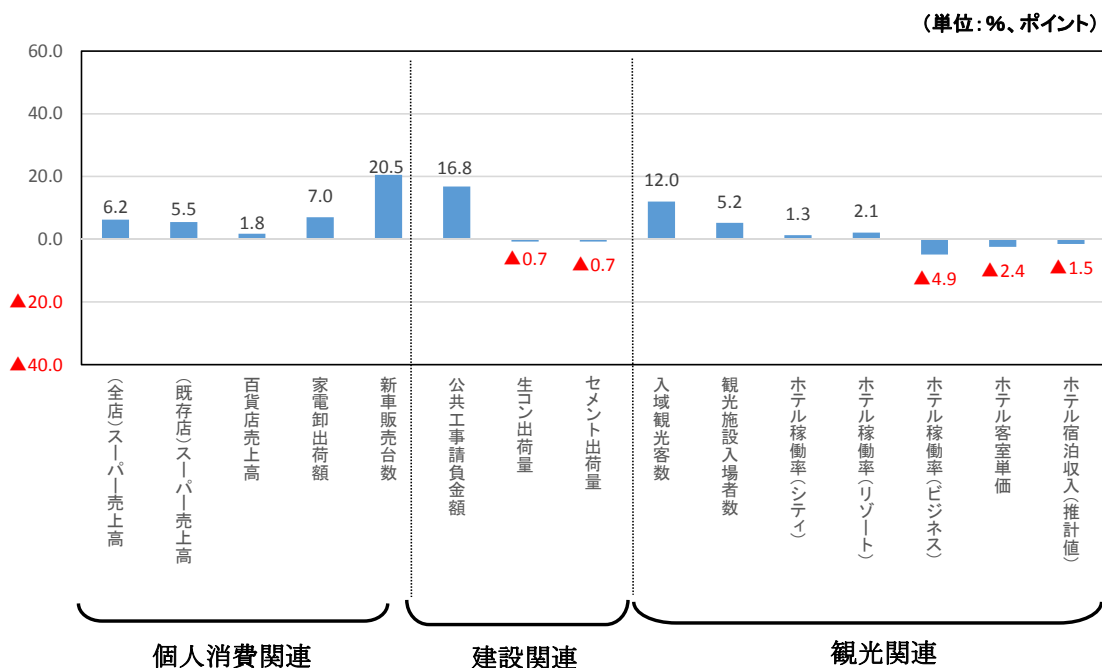
建設関連では、公共工事請負金額は、市町村や独立行政法人等の発注による工事増などで前年同月を上回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は44ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテルが前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から28ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



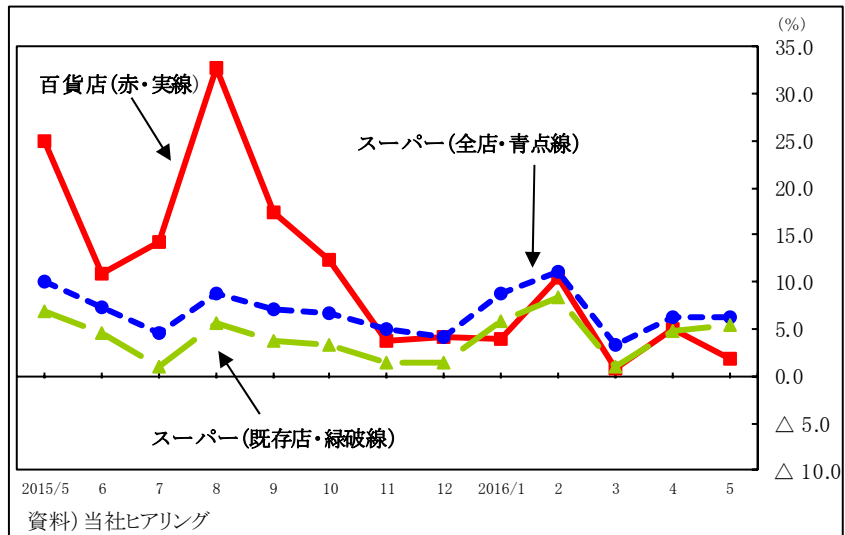


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2015/5	10.1	6.9	25.0
6	7.4	4.5	10.8
7	4.6	1.1	14.2
8	8.7	5.6	32.7
9	7.0	3.7	17.3
10	6.6	3.3	12.3
11	4.9	1.5	3.8
12	4.2	1.5	4.2
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5
3	3.3	0.9	0.7
4	6.3	4.8	4.9
5	6.2	5.5	1.8

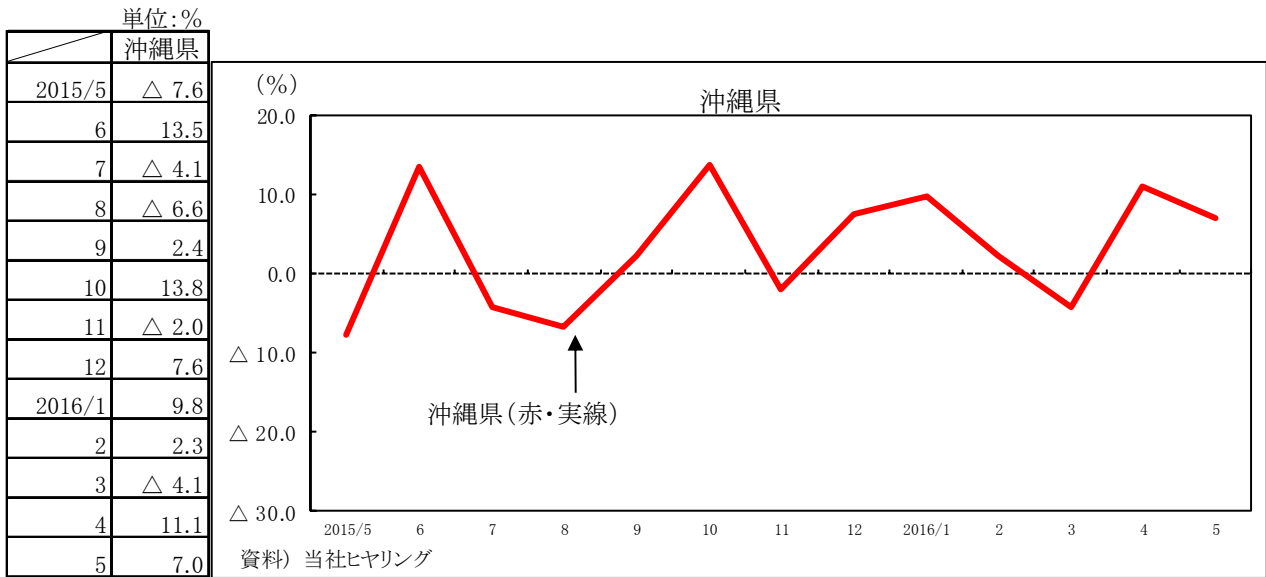


注) 前年同月比

5月の個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース(前年同月比6.2%増)」が14ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年より土曜日が1日少なかったものの、新規出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同4.7%増)」や家電を含む「家庭用品(同12.8%増)」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。「既存店ベース(同5.5%増)」は店舗改装による集客効果などから、14ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同4.3%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)や惣菜の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。「衣料品(同5.3%増)」は、テナント改装効果や梅雨入り(今年16日、前年20日)後も気温が高く推移したことなどから、夏物衣料の売れ行きが好調で前年同月を上回りました。また、家電を含む「家庭用品(同10.4%増)」は買い替え需要などから白物家電(エアコン、洗濯機、冷蔵庫)やテレビなどでの売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類)の増加などから、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、前年より土曜日が1日少なかったものの、店舗改装による集客効果などから、「雑貨」などの売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました(同1.8%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同0.1%減)」は、主力商品である「婦人服(同0.3%増)」の売れ行きが堅調だったものの、「紳士服(3.7%減)」などがふるわず、前年同月を下回りました。また、「身の回り品(同18.9%減)」は催事の減少、「食料品(同9.4%減)」は、前年にフロア改装効果で大きく伸びた反動減などから、それぞれ前年同月を下回りました。一方で、「雑貨(同16.5%増)」は、継続的な国内外観光客需要により化粧品などの売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。

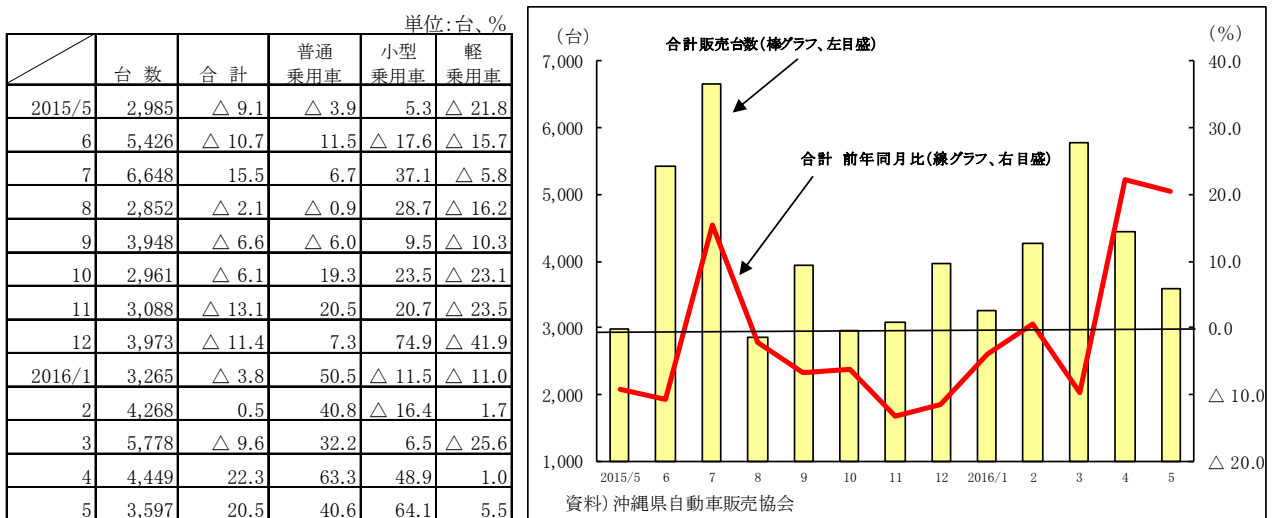
②家電卸出荷額…エアコンや洗濯機の売上増加などにより、前年同月を上回る。



注)前年同月比

家電卸出荷額は、エアコンや洗濯機の売上増加などにより、2 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 7.0%増)。品目別では、「エアコン(同 32.0%増)」は梅雨入り後も気温が高く推移したことなどから売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。また、「洗濯機(同 25.9%増)」、「冷蔵庫(同 12.3%増)」、「テレビ(同 4.8%増)」は新型商品効果や量販店による販促強化などにより高価格帯商品の売れ行きが堅調だったことから、前年同月を上回りました。一方で、「太陽光パネル(同 30.0%減)」は、条件付接続の影響が続いていることなどから前年同月を下回りました。

③新車販売台数…レンタカー需要や買い替え需要の増加などから、前年同月を上回る。



注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で 3,597 台(同 20.5%増)となり、2 ヶ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、レンタカー需要や買い替え需要の増加などから「普通乗用車(同 40.6%増)」は 8 ヶ月連続、「小型乗用車(同 64.1%増)」は 3 ヶ月連続で前年同月を上回りました。また、「軽乗用車(同 5.5%増)」は前年に軽自動車税増税の影響で落ち込んだ反動などから 2 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

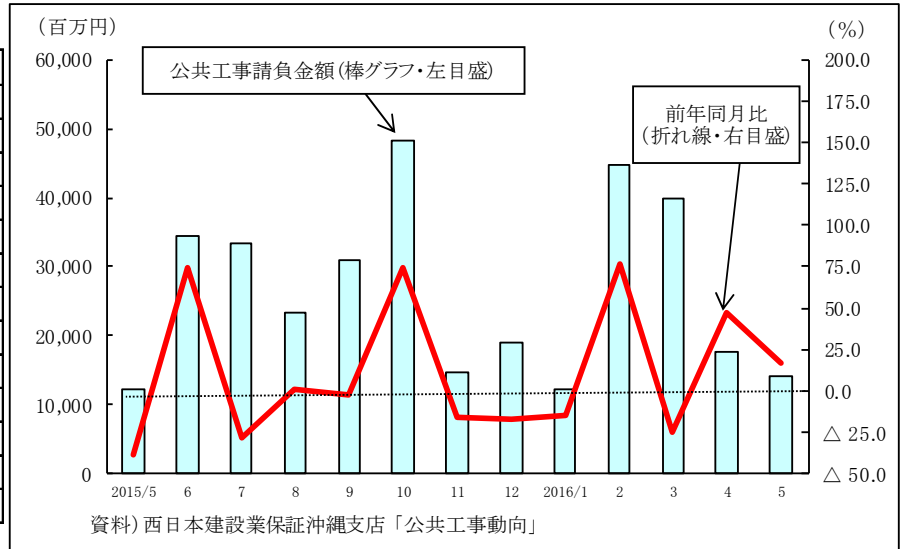


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2015/5	12,215	△37.9
6	34,358	74.0
7	33,472	△28.3
8	23,352	0.8
9	30,835	△2.1
10	48,301	74.7
11	14,816	△15.4
12	19,114	△16.8
2016/1	12,202	△15.0
2	44,788	76.4
3	39,972	△24.7
4	17,690	47.5
5	14,261	16.8

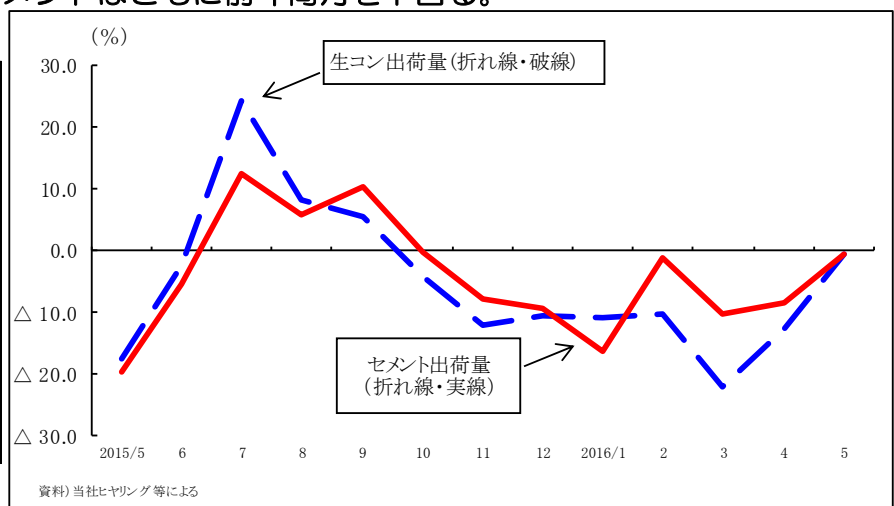


5月の公共工事請負金額は、前年同月比16.8%増の142億6,100万円となりました(2ヵ月連続増)。発注者別でみると、「国(同34.5%減)」や「その他の公共的団体(同19.1%減)」は前年同月を下回ったものの、「独立行政法人等(約44.1倍)」は前年水準が低かった反動増に加えて沖縄自動車道関連の大型工事など、「沖縄県(同19.4%増)」はうるま市での高校施設関連工事など、「市町村(同94.9%増)」は浦添市での小学校校舎改築工事などにより前年同月を上回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

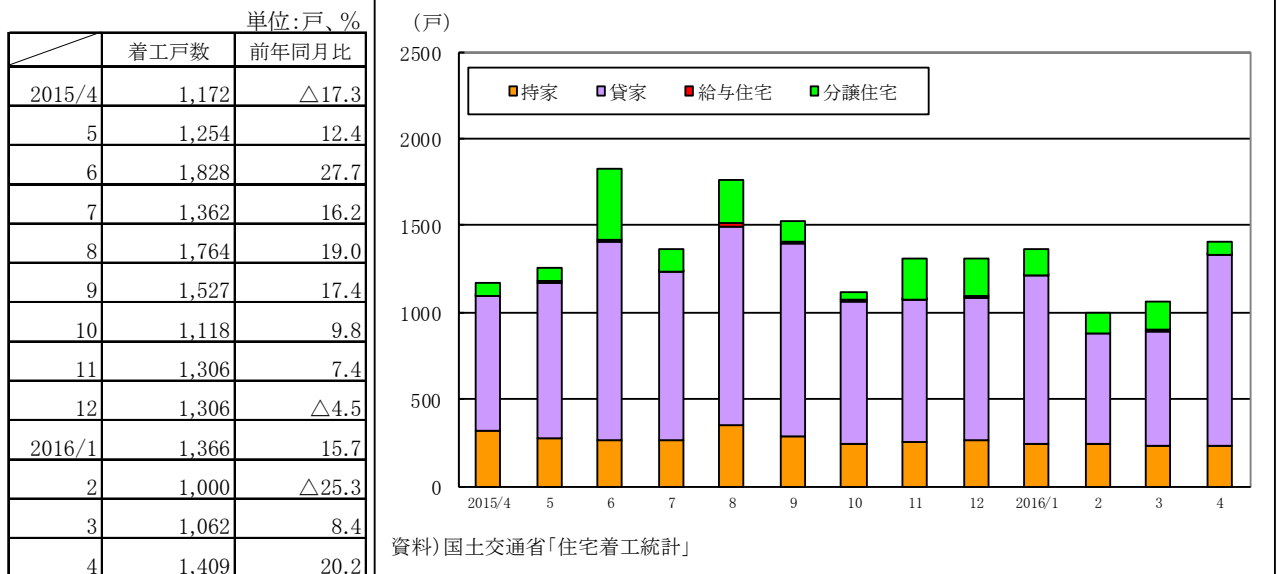
	生コン	セメント
2015/5	△17.6	△19.6
6	△2.3	△5.3
7	24.3	12.4
8	8.4	5.9
9	5.5	10.4
10	△4.2	△0.2
11	△12.2	△7.7
12	△10.5	△9.4
2016/1	△11.0	△16.3
2	△10.2	△1.2
3	△22.2	△10.2
4	△12.7	△8.4
5	△0.7	△0.7



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は0.7%減少し8ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より3.5%上回った一方、民間工事向け出荷は2.7%下回りました。**セメント**出荷量も0.7%減と8ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(4月)…着工戸数は前年同月を上回る。



新設住宅着工戸数(4月)は、全体で前年同月比20.2%増の1,409戸と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同40.9%増)」や「分譲住宅(同11.0%増)」は前年同月を上回った一方、「持家(同27.8%減)」や「給与住宅(同50.0%減)」は下回りました。

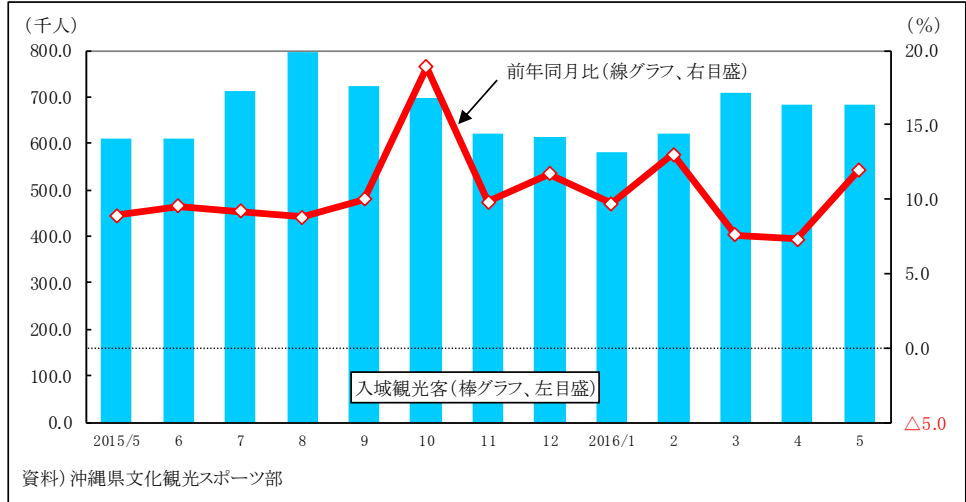


■観光関連： (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計) …44ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2015/5	611.4	8.9
6	610.0	9.5
7	714.0	9.2
8	797.5	8.8
9	724.7	10.0
10	696.8	18.9
11	619.6	9.8
12	613.6	11.7
2016/1	581.6	9.7
2	622.5	13.0
3	709.2	7.6
4	681.5	7.3
5	684.6	12.0

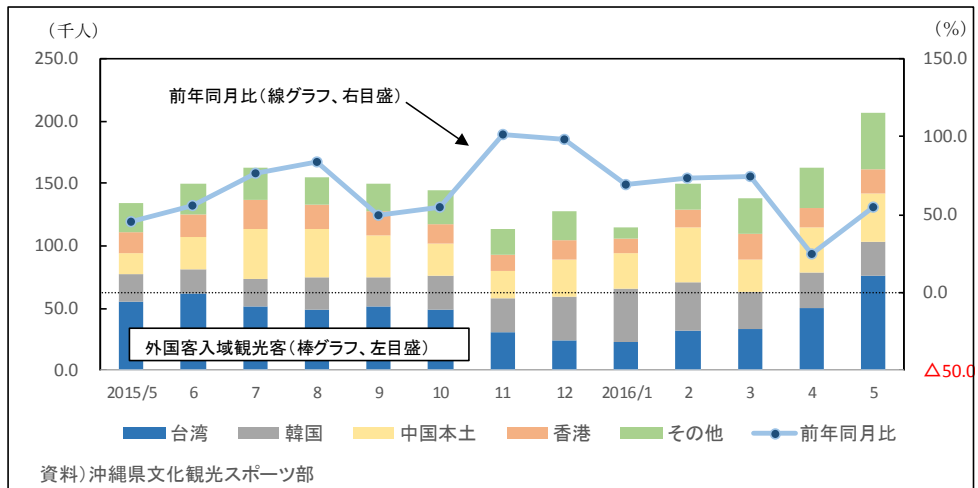


※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…34ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2015/5	133.7	45.8
6	149.2	56.2
7	163.0	76.6
8	154.7	83.7
9	149.6	49.7
10	145.1	54.7
11	113.4	101.1
12	128.3	98.3
2016/1	114.9	69.2
2	149.9	72.9
3	137.9	74.6
4	162.2	24.2
5	206.5	54.5



※外国客は乗務員等を含む

5月の入域観光客数は、73,200人多い684,600人(前年同月比12.0%増)となり、44ヵ月連続で前年同月を上回りました(5月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同0.1%増)」は478,100人と、熊本地震の影響(団体旅行キャンセル、旅行自粛の動き等)により、福岡方面からの入込が前年を下回ったものの、離島方面の路線(羽田-宮古、関西-宮古等)が好調だったことや航空路線の拡充、海路客の増加等により、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

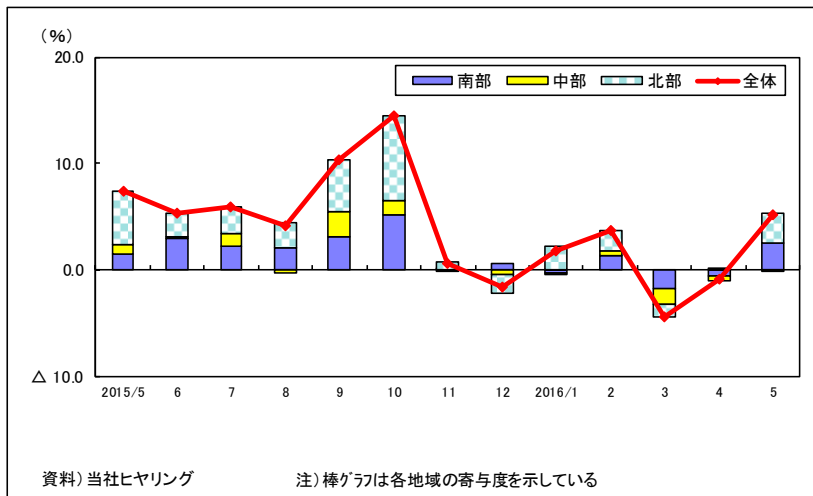
他方、「外国客(同54.5%増)」は、206,500人と34ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充(台湾、中国本土、韓国方面等)やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

「台湾(同37.4%増)」「韓国(同27.1%増)」「中国本土(同119.1%増=約2.2倍)」「香港(同17.5%増)」

※乗務員等を除く2016年5月実績=全体648,500人(同9.1%増)、外国客170,400人(同46.1%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…3ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2015/5	7.3	3.4	7.0	10.9
6	5.3	7.4	1.8	4.3
7	6.0	6.4	10.1	4.8
8	4.1	6.3	△2.7	4.3
9	10.3	8.7	21.4	9.0
10	14.4	12.7	9.8	17.2
11	0.6	△0.4	0.3	1.7
12	△1.6	1.4	△3.6	△3.8
2016/1	1.8	△0.7	△1.4	4.6
2	3.7	3.3	3.5	4.0
3	△4.4	△4.6	△11.4	△2.2
4	△0.9	r△1.5	△3.0	0.3
5	5.2	6.4	△0.8	5.7

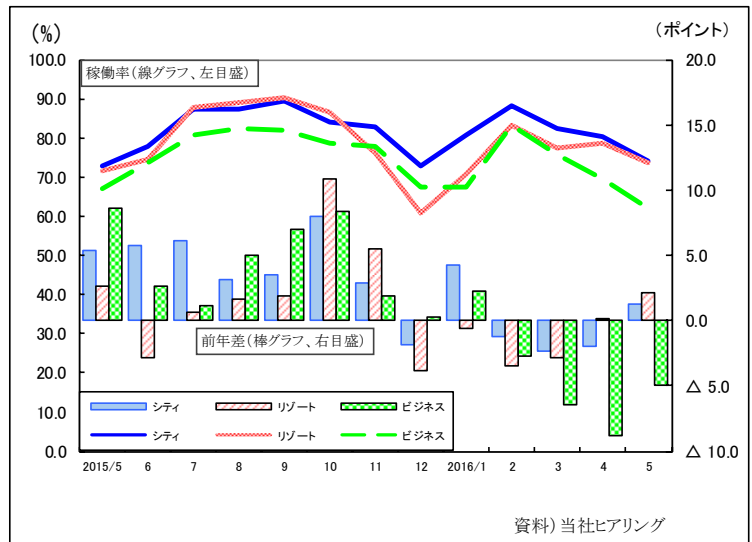


*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より5.2%増加(3ヵ月ぶり)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同6.4%増と3ヵ月ぶり、北部は同5.7%増と2ヵ月連続で上回り、中部は同0.8%減と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテルは前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2015/5	72.9	r 71.4	67.1	5.4	r△2.6	8.6
6	78.0	r 74.5	73.6	5.8	r△2.9	2.6
7	87.2	r 87.9	80.6	6.1	r 0.7	1.1
8	87.5	r 89.0	82.2	3.1	r 1.7	5.0
9	89.3	r 90.4	82.1	3.5	r 1.9	7.0
10	83.9	r 86.7	78.6	8.0	r 10.8	8.4
11	82.9	r 76.0	77.6	2.9	r 5.5	1.9
12	72.8	r 60.9	67.4	△1.8	r△3.8	0.3
2016/1	80.5	r 70.9	67.3	4.2	r△0.6	2.2
2	88.3	r 83.3	83.4	△1.2	r△3.5	△2.7
3	82.3	r 77.3	75.9	△2.3	r△2.8	△6.5
4	80.1	r 78.6	69.3	△2.0	r 0.2	△8.8
5	74.2	73.5	62.2	1.3	2.1	△4.9



注)シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

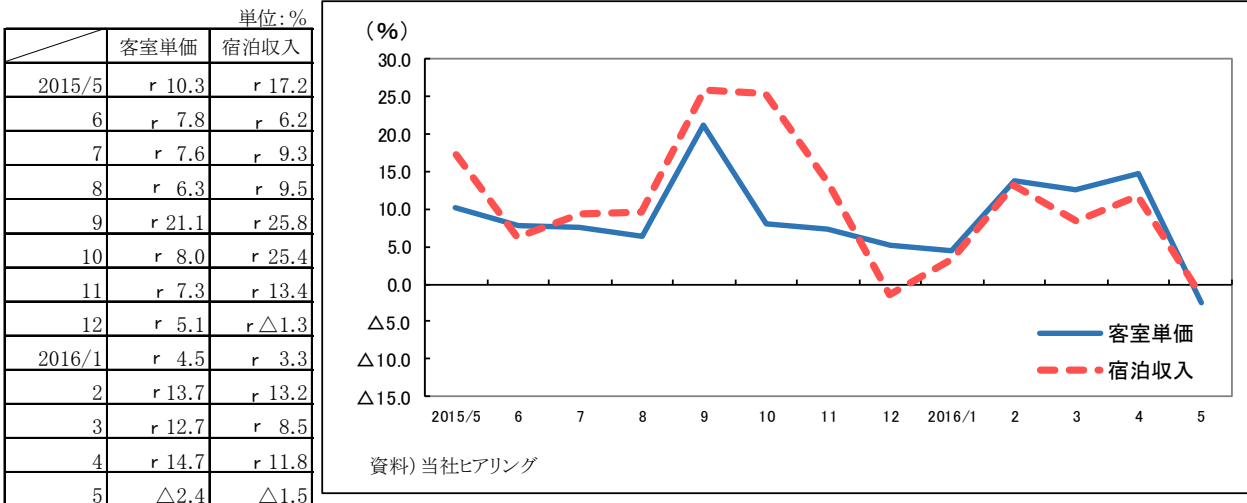
注)2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

注)2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

*公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが74.2%と1.3ポイント上昇(4ヵ月ぶり)、リゾートホテルが73.5%と2.1ポイント上昇(2ヵ月連続)、ビジネスホテルが62.2%と4.9ポイント減少(4ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。



※対象施設数:27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 2.4%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**も同1.5%減と前年同月を下回りました。

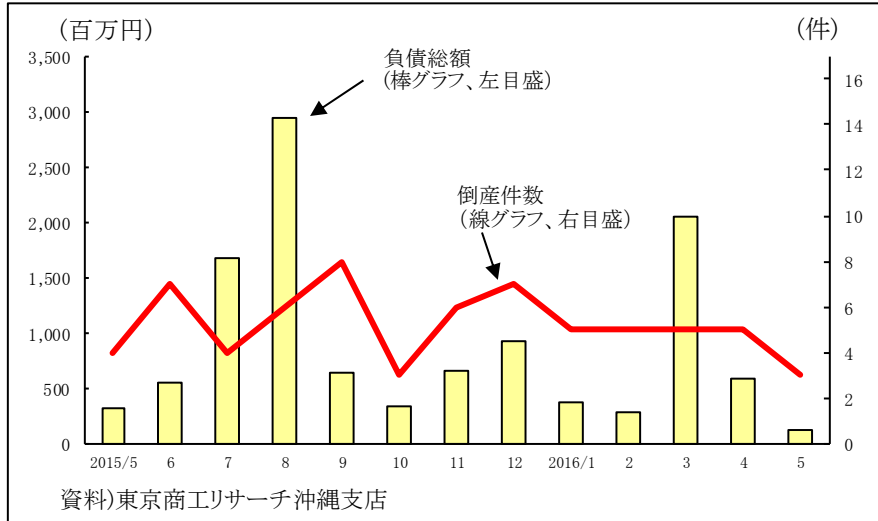


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位: 百万円、件

	負債総額	倒産件数
2015/5	313	4
6	546	7
7	1,685	4
8	2,936	6
9	649	8
10	333	3
11	665	6
12	919	7
2016/1	375	5
2	282	5
3	2,050	5
4	596	5
5	122	3



5月の企業倒産件数は、3件(うち、大型倒産や大口倒産は無し)発生し前年同月より1件少なく、負債総額は1億2,200万円の前年同月より61.0%減少しました。

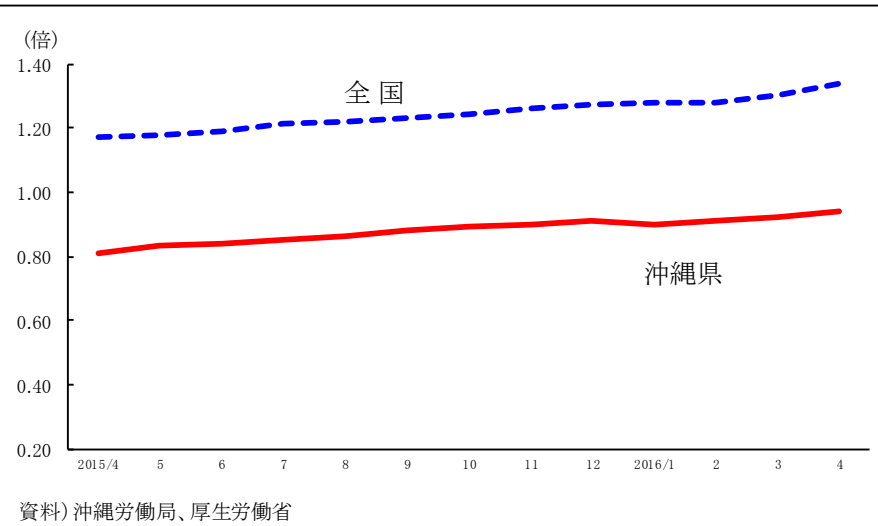


【参考】雇用関連: (良い)

(参考) 有効求人倍率(4月)…沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位: 倍

	沖縄県	全国
2015/4	0.81	1.17
5	0.83	1.18
6	0.84	1.19
7	0.85	1.21
8	0.86	1.22
9	0.88	1.23
10	0.89	1.24
11	0.90	1.26
12	0.91	1.27
2016/1	0.90	1.28
2	0.91	1.28
3	0.92	1.30
4	0.94	1.34



注) 季節調整済

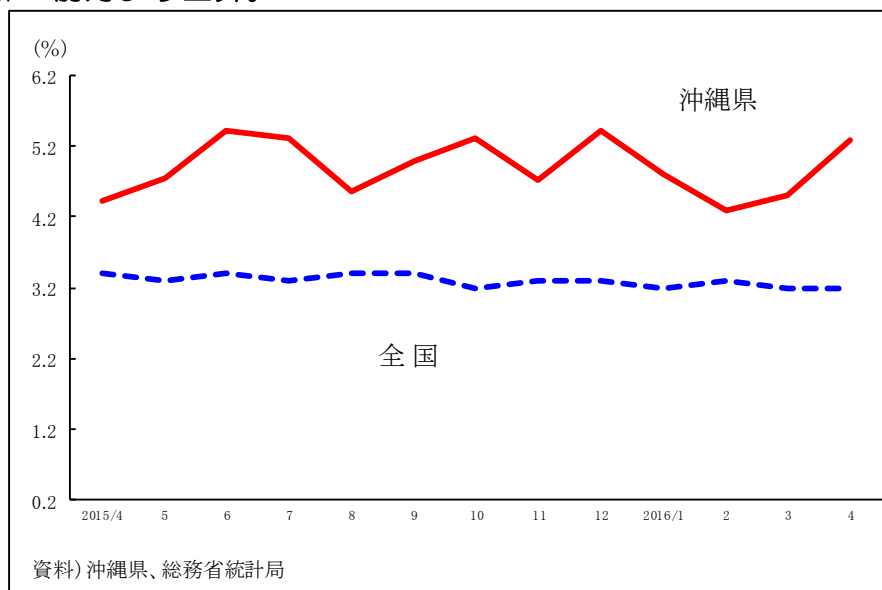
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

4月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比0.8%減の25,900人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比2.9%減の27,617人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.94倍となり前月より0.02ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(4月)…前月より上昇。

	単位:倍	
	沖縄県	全 国
2015/4	4.4	3.4
5	4.8	3.3
6	5.4	3.4
7	5.3	3.3
8	4.6	3.4
9	5.0	3.4
10	5.3	3.2
11	4.7	3.3
12	5.4	3.3
2016/1	4.8	3.2
2	4.3	3.3
3	4.5	3.2
4	5.3	3.2

注) 季節調整済



4月の完全失業率(季節調整値)は、5.3%となり前月より0.8ポイント上昇しました。